

令和3年5月1日

敬愛短大附属幼稚園だより 5月号

改めまして、入園されました保護者の皆様お子様のご入園おめでとうございます。本年度は2部に分けての入園式でしたがいかがでしたでしょうか。敬愛幼稚園で育った子どもたちも4月から小学生になり、入学式後にご両親と幼稚園を訪れてピカピカのランドセル姿を見せてくれました。

入園式でも話をさせていただきましたが、敬愛幼稚園の卒園児が各所で活躍しており、幼児期とともに過ごさせていただいた担任もさることながら、敬愛幼稚園の職員全員が喜んでおります。やはり、子どもの成長する姿が何よりも嬉しく思います。

入園児も初めて両親から離れての生活は緊張と不安がいっぱいでしたが、早朝からの鳴き声の合唱も遊戯室等での身体を動かした遊びが始まるとそれまでの泣き顔がたちまち笑顔になり、お友だちと楽しく遊ぶことで不安が一気に消えたようでした。

たくさんのお友だちとの遊びを通して少しずつ社会性を身に付けながら幼稚園で様々な経験と体験を通して逞しくなっていますのでご安心ください。

1 夢と志の違い

経済学者の野田一夫さんが、ソフトバンクグループを現在の規模まで成長させた代表取締役の孫正義さんについて「夢と志」の違いについて操業間もないころに問い掛けたことを回想しています。

『“夢”というのは漠然とした個人の願望だ。車を買いたい、家を持ちたいといった夢はみんな、個々人の未来への願望。でも、その個々人の願望を遙かに超えて、多くの人々の夢、多くの人々の願望をかなえてやろうじゃないかという気概を”志”というんだ。夢は快い願望だが、志は厳しい未来への挑戦だ。だから、”志”と”夢”ではまったく次元が違うぞ。”夢”を追うなんて程度の男になってはいかん。”志”を高く持て!』

孫さんはその言葉を心に刻み、ソフトバンクグループが成長し続けている時でさえ忘れずに、そして、巨大企業に成長した現在も歩みを止めることなくチャレンジを続けています。

戦後間もないころにSONYを創業した井深大さんや、高度経済成長期を支えてきた人々も皆共通して“志”を持ち続けていたことと思います。

私たちもその心を持って人生を歩み続けたいと思います。そして、いつか敬愛幼稚園の卒園児がそういう人になって世の中に貢献できることを願って日々の保育を実践して行きたいと考えています。今月号は“志”が名前についている私を感じたことを記述させていただきました。

2 敬愛幼稚園でしかできない「かがくのひみつきち」が始まります

今月から年長さんを対象とした「かがくのひみつきち」（親子の科学教室）が始まります。敬愛幼稚園ならではのもので、4月、8月、3月を除く毎月予定（9回）されています。また、興味のある回のみでの参加も可能です。

全国でもこれだけ豊富な（40近いプログラム）内容で実施しているところはありません。年長さんが中心ですが、年長さんが在園中であれば、小学生でも年少・年中さんでも出来上がったものを使って遊ぶなど参加可能です。（内容によっては製作できるものもあります）

「かがくのひみつきち」はお子さんだけが楽しむのではなく、大人の方にも楽しんでいただくことをもうひとつの目的としています。申し込み期間が決まっていますので積極的に参加してお子さんと一緒に楽しんでください。私が出演や監修等、テレビで実際に放送したのも再現できるようにしていますし、園にある年長さんが運営する「けいあいこどもミュージアム」にあるものも実際に製作して持ち帰ることができ、お家でまたみんなで楽しむことも出来ます。

（園長 杉山清志）